

活力ある元気なまちへ まちづくり懇談会の実施結果

各地区まちづくり懇談会での意見

福祉・保健

- ・「おたっしや教室」は健康に良い
⇒他の地区での先進的な取り組みの情報交換を行い、取り組みを広めていく
- ・緊急時の医療機関の連絡先などの情報が分からぬ
⇒連絡先のシールを作成・配布し、電話機等に貼つてもらう
- ・子育ての支援者がまだまだ少ない
⇒親子で気軽に参加し、話し合える場所を設ける
⇒子育て経験者に協力してもらう
- ・高齢者を見守るしくみができていない
⇒配達をしている民間業者等に協力してもらい、声かけを充実する
⇒何かあった時に、隣近所にベルで知らせるようにしておく
- ・高齢者が楽しく活動できる場が少ない
⇒各地区の集会所を開放し、自由に使用できるようにし、身近に寄れる場を作る



教 育

- ・自然環境に恵まれており、子どもの教育に適した環境となっている
⇒子どもが自然に触れ合うことができる機会をたくさん作る
- ・小学校と地域とのつながりが都会に比べて多い
⇒子ども新聞や学校新聞を各戸に配布してもらい、学校と地域の絆を深める
⇒地域の人が授業参観に行くなど地域と学校の交流を行う
- ・公民館の広報の記事が充実している
⇒さらに充実するため、地域の話題を掘り起こす記者組織を立ち上げる
- ・歴史があるのに活用できていない
⇒字の歴史紹介シリーズを公民館事業で行う



町では、第5次日野町総合計画の策定に向けて、さまざまな意見を計画に活かすことを目的に、各地区公民館での「まちづくり懇談会」を開催しました。「まちづくり懇談会」では、「福祉・保健」「教育」「産業・都市基盤」「環境・生活」という4つの部門に分かれ、これからまちづくりについて、さまざまな意見をいただきましたので、その一部を紹介します。今後、皆さんのお意見をもとに、総合計画の具体的な内容を検討していきます。

* 細字…「強み」・「弱み」 太字…今後の取り組み方

安心して暮らしづづけられるまち 第5次日野町総合計画

産業・都市基盤

- 美しい田園風景と山並み、歴史ある落ち着いた町並みがある
⇒レトロな雰囲気や人とのふれあいを売りにして、京都や大阪からの観光客を呼ぶ
- 米、日野菜以外の商品の開発が必要
⇒地域で特産品づくりに取り組む
- 農業の担い手が不足している
⇒サラリーマン退職者や都会からの農業就労を支援する
- 空き家の有効活用ができていない
⇒空き家を福祉サロンの活動の場として活用する
- 若者の定住化ができていない
⇒若者が流出している原因をアンケート等で調査し、対策を考える



環境・生活

- 消防団や自主防犯組織の活動が充実している
⇒活動している人に、声かけをし、感謝の気持ちを伝える
- ゴミ分別、減量化のさらなるPRを行う
⇒町独自のエコポイントを作成し、目標を達成した地域に特典を与える
- 新しく地域に来られた人が溶け込む場がない
⇒字の中に同年代の小さなグループを作り、交流を行う



- バス停が遠く、不便
⇒運行日や本数を絞って、試験的に自治会内の運行を行う
- 団塊の世代の活躍の場が必要
⇒団塊の世代のグループを作る
⇒公民館を活用し、集まる場を作る

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当（役場3階）
☎ ⑤6552 有線 ⑤8963 FAX ⑤2043
Eメール kikaku@town.shiga-hino.lg.jp

まちづくり講演会を開催します

日 時 10月10日（土）午後7時30分から
場 所 日野公民館ホール
講 師 岡田知弘氏おかだ ともひろ（京都大学大学院経済学研究科教授）

「強み」を伸ばし、「弱み」を克服するためにー